

皆様、こんにちは。ゴールデンウィーク（言い方古い？）はいかがお過ごしでしたでしょうか？

前半は天気もよく、行楽にはよい天候だったのではないのでしょうか？後半は少し崩れましたが、疲れを取るにはよかったですと思います。

私も2日ばかり、普段相手にしてやれない息子の野球の練習に付き合いました。おかげで、近年稀にみる筋肉痛に見舞われています。(笑) 6年生で試合も多く、熾烈な？レギュラー争いもありますので、できることは応援してあげたいと思っています。

さて、今回のニュースレターは、「アプローチやエントランスについて」です。言うまでもなく、住宅（店舗も同様です）の導入部としてのアプローチやエントランスは、非常に大切な部分です。例えば、道路から敷地に入り、そこから玄関までたどり着く間、来訪者は何を見てどのように歩くのでしょうか？

よく街を歩いたり車で通っている時に、大通りからすぐの場所に無防備に玄関が付いている住宅を見つけ、あまりの無防備さに驚くこともあります。玄関が開いたら、通りから居間の中まで見えるような・・・

方位や敷地形状、プランによりやむを得ない場合もありますが、できればエントランスは前面道路からすぐに・真っ直ぐ引込むのではなく、横から入るとか、回り込むとか、何か工夫が欲しいところです。

また、動線として最短が良いと思う方もいるかもしれませんが、時にはアプローチを長く取り、遠回りさせて玄関に入るといったような仕掛けも必要かと思っています。

そこで、いくつかの設計例をもとにアプローチやエントランスの設計趣旨について、説明をさせていただきます。

SeaSide-House

前面道路に面して、ガレージの入り口が向いています。玄関へは、ガレージのコンクリート打ち放しの壁の横を歩き、バルコニー下の壁に囲まれたエントランスから入ります。海辺ですが、アプローチや1階からは、海が見えにくくし、2階に上がった時に見える海を演出しています。エントランスホールは開放的な場所にありながら、光を抑えた空間としています。



MinimalBox

ここも、前面道路に面して唯一の開口部がガレージの入り口とし、窓や設備機器も意識して設けていません。玄関は、建物右手、壁に囲われたアプローチを数段上り、180度方向を変えた位置にあります。来訪者は、コンクリートの塊を見ながら玄関へ進みます。玄関ドアは、大型のスチールドア。玄関ホールの壁の陰に2階への階段があり、階段へはスリット状のトップライトから光が差し込みます。この建築も、閉じた北側と開放された南側が対照的です。



旭川の家

狭小敷地の、間口の狭い敷地です。車1台分のガレージを設ける必要があり、正面はガレージの開口とコンクリート打ち放しの壁です。ガレージにシャッター等はなく、玄関はガレージの中、向かって右手の壁にあります。ここでは、スペースの関係上、引戸式の玄関戸を採用しています。玄関に入って左側は納戸・洗面と川に向けた浴室、右側に2階への螺旋階段と、階段下を通って行く書庫があります。一般的に考えれば、「狭いエントランス空間」ですが、実際に入ってみると、狭さが心地良い空間ということができると思います。



羽後の住宅

通りから、全く引きの取れなかった住宅の例です。改築前の住宅は、通りからすぐに正面を向いて玄関がありました。この住宅は、正面横から風除室を通り、玄関にアプローチします。写真では見えにくいですが、玄関アプローチは正面からは目隠しになる、木製の格子状のスクリーンがあります。玄関内は、ガレージからも直接つながり、将来の車椅子の使用も視野に入れた、高齢者対応の余裕のあるスペースになっています。



編集後記

最後までお読みいただきまして、ありがとうございました。リニューアル第2号をお届けしましたが、いかがでしたでしょうか？

楽しみにしていた連休もあっというまに終わり、直ちに日常に戻りました。(笑) 私も2日間は仕事から離れ、気持的にはゆっくりさせていただきましたが、わずか2日間の休みでも軽い休みボケになるのですね。(笑)

国内外の情勢や、建築建設関連の数値を見ますと、必ずしも明るい状況ではありませんが、皆様の共感を得ながら、また少しでも新しい方向にも取り組んでいきたいものです。

感想やご意見、ご質問をお待ちしております。次回もどうぞお楽しみに。次回もどうぞお楽しみに。

NewsLetter 「建築家の日常・非日常」
発行責任者： 加藤 一成

LessDesign (有)加藤一成計画事務所
TEL 018-831-4315
FAX 018-831-4316
http://www.lessdesign.jp
http://issei-design.cocolog-nifty.com/
mail issei-design@nifty.com